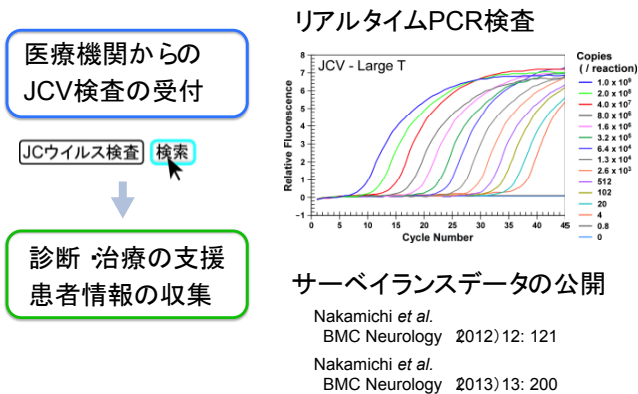


脳脊髄液中のJCウイルス(JCV)の検査支援による 進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランス

研究分担者: 国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸

① 脳脊髄液のJCウイルスPCR検査による PMLの実験室サーベイランス

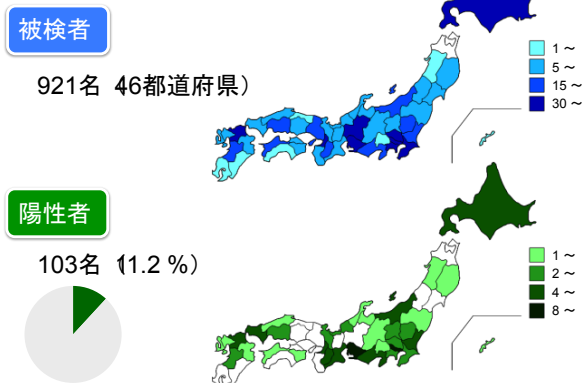


② 各年度の検査およびサーベイランスの実績

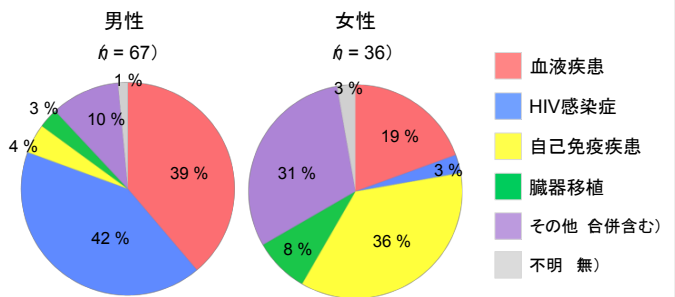
年度	検体数	陽性検体	被験者数	陽性者数	陽性率(%)
2007	85	13	70	9	12.9
2008	95	10	85	9	10.6
2009	144	24	125	18	14.4
2010	180	22	139	12	8.6
2011	177	38	141	19	13.5
2012	214	22	185	16	8.6
2013	209	33	176	20	11.4
2014*	194	21	166	14	8.4
合計	1,298	183	1,087	117	10.8

※ 12月31日現在

③ 被検者と脳脊髄液JCV陽性者の分布 (2007~2013)



④ PML患者の基礎疾患の種類と割合 男女別 (2007~2013)



基礎疾患のパターンが男女で異なる

解 説

1. 全国の医療機関から進行性多巣性白質脳症(PML)の診断のための脳脊髄液中のJCウイルス遺伝子の検査を受け付けた。2007年4月1日から2014年12月31日までに1,298件の検査を実施し117名が陽性を呈した。
2. 2007年からの4年間では血液疾患やHIV感染症を有する男性患者を中心として陽性者が見られたが、近年(2011年度以降)では女性患者の割合が増えており、また自己免疫疾患もしくは臓器移植歴を有する患者でのPMLが増加傾向にあることが分かった。

「診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学調査